

令和4年度 大阪府立箕面高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立箕面高等学校
校長名	石田 利生

開催日時	令和4年7月8日(金) 14:00~16:00
開催場所	大阪府立箕面高等学校 校長室
出席者(委員)	湯峯会長、石橋副会長、黒田委員、前澤委員
出席者(学校)	石田校長、前田教頭、藤原事務長、高木首席、Yee 進路指導主事、千葉教務主任
傍聴者	なし
協議資料	資料1 次第 資料2 大阪府立箕面高等学校 学校運営協議会 実施要項 資料3 令和5年度使用教科用図書の選定状況 資料4 令和4年度 進路実績 資料5 令和4年度学校経営計画
備考	特記事項なし

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者からの意見書提出状況 2. 令和5年度使用教科用図書の選定状況(資料3) 3. 令和4年度 進路実績(資料4) 4. 令和4年度学校経営計画(資料5) 5. その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>(1) 保護者からの意見書提出状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前回の協議会以降、保護者からの意見書提出はなかったことを報告させて頂く。 <p>(2) 令和5年度使用教科用図書(資料3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料3の選定理由書のとおり、適正に選定されていることを報告させて頂く。 ☆ 意見・質問等 ・ 特記事項なし <p>(3) 令和4年度 進路実績(資料4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料4を説明 ☆ 意見・質問等 ・ コロナで入試状況がどこか変わったという感じはあったか。 ⇒ やはり遠くへの移動を避ける傾向があり、近くで安全に合格を早期に出したいというような傾向が強いなということを感じる。しかし、海外を大学進学の一つのツールと考える校風が箕面高にはあるので、それがまだ突破口になるのではないか。 ・ 高3からいきなり海外の大学といった場合は、保護者が二の足を踏むということはないのか。 ⇒ 学費や治安が理由で二の足を踏むことがある。奨学金をどれだけ確保できるかは海外大学進学における1つの大きな要因である。

(4) 令和4年度学校経営計画(資料5)

- 令和3年度の第3回学校運営協議会でご覧いただいたものと概ね同じである。
めざす学校像(1)～(4)は、全て資質能力ベースで表現している。今年度策定を求められているスクールポリシーにも反映させていく予定である。裏面に記載の今年度も重点目標含めPTAにて承認済である。
- 海外大学に一番近い府立学校としてチャレンジする学校というものが、ここ数年たっても揺るぎない本校の立ち位置及びスピリッツであるため、これをスクールミッションにしようと考えている。
- 授業改善とカリキュラムマネジメントは重要である。
- 校内のLINKや校外のLETSを活用し、生徒一人一人が強みを発見できる場を設定していきたい。

☆ 意見・質問等

- ・中期的目標の(2)にあるものが大事である。この部分(21世紀スキル)をどのように授業に落とし込むのか課題である。
- ・生徒の自主性を尊重しつつ、うまく伸ばしていくことを楽しみにしている。
- ・授業改善のためには生徒や保護者の意識改革が必要である。

(5) その他

- 地元からの信頼構築、地元中学との中高連携などが大事である。
- 入試問題の選択は受験生へのメッセージである。中学校の勉強を最後まで頑張ってもらいたい。

☆ 意見・質問等

- ・ぜひ中高連携はやりたい。
- ・新課程における苦勞している点は何か。
⇒主体性の評価に苦勞しているが、昨年より複数回研修を行っている。また、8月29日に京都大学の特任教授を招聘し、具体的な事例について学ぶ予定である。

次回の会議日程

日時	令和4年11月18日(金)を予定
会場	大阪府立箕面高等学校 校長室